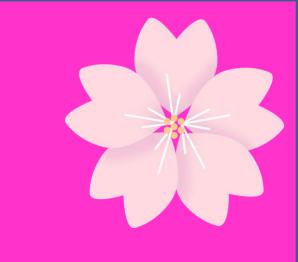
沖縄県立北部農林高等学校



日本の春はここから始まる。未来へ残そう美ら桜! ~知っている?聞いてみる?桜のこと~

高校生ボランティア・アワード2023

「北農桜プロジェクト」

活動概要

沖縄本島北部亜熱帯の森には、希少な固有動 植物が多く生息しており世界自然遺産「ヤンバ ルの森」として登録されています。その緑豊か な森を濃いピンク色に染め、新春を知らせる花 が琉球寒緋桜です。沖縄の桜は毎年1月頃から 咲き始めます。各地で桜祭りが開催され、3大 桜まつりとして、第60回を数える名護桜まつり 第45回もとぶ八重岳桜まつり、第16回今帰仁 グスク桜まつりがあります。他にも第18回那 覇美らさくらまつり、第16回やえせ桜まつり、 うるまヌーリ川桜並木めぐりなど県外から観光 客も多く訪れます。このように、長年私たちに 愛され続けている桜ですが、近年立ち枯れや老 木化がめだつようになりました。そこで、「日 本の春は、ここから始まる!未来へ残そう美ら 桜」を合い言葉に、同窓会、市民とも連携し、 保全活動、桜の森プロジェクト、桜の街道づく り、一人一研究に取り組み、桜あふれる街をめ ざしSNSを活用した広報活動にも力を入れて いきます。









「日本の春はここから 始まる!未来へ残そう美ら桜」

活動の目的

「日本の春は、ここ沖縄の桜からはじまる!」 全国に先駆け、春を知らせるピンク色の美しい桜。長年私たちに愛され続けていますがいまりまれたちに変され続けてなるりまります。 近年立ち枯れや老木がめだつようになりまります。 一人で、今年度は「日本の春はここか知ります。 をする。未来へ残そう、沖縄の美ら桜~知って、 始まる?間いてみる?桜のことです。 に、北農さくらプロジェクトを立ち上げ、境間 題に興味のある生徒を中心に研究活動、植栽 活動を地域と連携し、環境問題への啓発へと 繋げ活動を行っています。



「活動目標」

実施内容及び今後の予定

- (1) 名護桜の会、名護市観光協会、名護花の里づくり会、北部農林高等学校定時生生徒・北部農林高等学校 同窓会・後援会、名護市各区との連携
- (2) 名護さくらのまち推進事業及びさくら里親参加
- (3) エコ部員桜一人一研究の実施
 - ○桜をつかった商品開発をしてみよう ○子どもとともに守る!沖縄の桜!
 - ○〔桜×福祉〕幅広い世代へ!桜広報プロジェクト ○桜を使ったお菓子づくり
 - ○桜を使った木工品づくり ○接ぎ木の技術を身につける
- (4) 桜の普及及び育樹活動、接ぎ木講習会の実施、校内桜の森プロジェクト、桜街道づくり
- (5) 生徒一人一桜運動の実施
- (6) 中学生桜植樹ボランティアの募集
- (7) ものづくり (桜環境絵本、紙芝居、桜キーホルダー、桜パズル、桜模型づくりなど)











「未来へ残そう美ら桜」

今後の展望・夢

沖縄には、琉球寒緋桜の3大スポットがあります。本部八重岳桜まつり会場である本部町八重岳には、標高450mの三町まで続く道沿いに7000本の桜が植えられています。今帰仁グスク桜まつり会場は、世界遺産である今帰仁城跡にあります。琉球王国建国以前に造られ、流線型の石垣に囲まれており、ライトアップされる夜桜も魅力です。第60回を数え伝統ある名護桜まつりは、名護市の名護中央公園の山岳を一帯とし、名護市街地を一望することができます。さくら祭りは、沖縄に新春到来をつげる一大イベントで、県内外から多くの観光客が訪れ、桜祭りの時期になると地元ビール会社のビールパッケージが桜模様になります。

当たり前のように毎年咲き、安らぎを与えてくれますが、近年、老木化、立ち枯れ等により、数が減少しています。樹木は、生長するのに何十年も時間がかかるため、今のうちから対策を講じないと、減少の一途をたどってしまいます。

そこで私たちは、豊かな自然環境を残すため、さくらプロジェクト立ち上げ、 地域、同窓会を通して、地域交流を行い、意識の高揚や連携、地域の活性化に取 り組み、「未来へ残そう美ら桜」を合い言葉に活動を行っています。



北部農林高等学校 林業緑地科&工二部

北部農林高校林業緑地科、エコ部 北部農林高等学校後援会・同窓会、 名護桜の会、名護市観光協会、名護 花の里づくり会、名護市各区と連携 し、さくらプロジェクトに取り組ん でいます。